

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	健康体操推進事業	所管	教育委員会教育総務部 生涯スポーツ課
			TEL 2998-9248

事業の目的 (何の為に 行うか)	誰もができる市独自の健康体操を作り、主に高齢者を対象に地域の自治会館で地域の方の協力によって広めていくことで「健康寿命」を延ばし、「引きこもり」を無くすなど、健康で元気な地域社会の実現をする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	6,000	人

活動の内容	(何を したか)	①体操普及への協力者(協力団体)に趣旨説明を行う。 ②できあがった市独自の健康体操を公民館などで発表を行ない協力を依頼する。 ③19年度については、4地区(三ヶ島、柳瀬、吾妻、中央)にてオープニング事業を行い、20年度3地区、21年度4地区、3ヵ年計画で全市に拡大していく。 ④資料として写真入りリーフレット、DVD、音響用CD、パンフレット作成し、これらを配付して行く。							
活動実績	項目名	事業開催回数	40	項目名	事業参加者数	6000	項目名		単位
			----- 単位 回			----- 単位 人			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,000	704	5,307	15.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	地域自主事業開設数	とこしゃん体操に取り組む地域での自主活動グループ数	30	35	116.7
			----- 単位 団体	----- 単位 団体	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了								
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120400	ℓa	2998-9248
事業コード	健康体操推進事業		教育委員会教育総務部 生涯スポーツ課			
120414		グループ	スポーツ振興			
開始年度		平成 19 年度	→	終了年度		平成 21 年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市スポーツ振興計画、健康日本21所沢市計画			スポーツ振興法				
	関連・類似事業	スポーツ教室開催事業							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	6節 生涯スポーツ	中柱	1 生涯スポーツ環境の充実	小柱	(4)市民の体力向上
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 24 位		実施計画における位置づけ…		H19	A	H20	○	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	3261	事務事業見直しの推進	コード		コード				
事業開始の背景	急激に進む高齢社会にあって、高齢化に伴った生活習慣病が増加しているなか、元気で暮らせる「健康寿命」を少しでも延ばして行くために新規で開設した事業である。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	誰もができる市独自の健康体操を作り、主に高齢者を対象に地域の自治会館で地域の方の協力によって広めていくことで「健康寿命」を延ばし、「引きこもり」を無くすなど、健康で元気な地域社会の実現をする。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)								
	市民	利用数の考え方		事業参加者数					
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	
		平成 19 年度	339,058	人			平成 19 年度	6,000	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
①体操普及への協力者(協力団体)に趣旨説明を行う。 ②できあがった市独自の健康体操を公民館などで発表を行ない協力を依頼する。 ③19年度については、4地区(三ヶ島、柳瀬、吾妻、中央)にてオープニング事業を行い、20年度3地区、21年度4地区、3ヵ年計画で全市に拡大していく。 ④資料として写真入りリーフレット、DVD、音響用CD、パンフレット作成し、これらを配付して行く。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
	予算	現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> )		
平成19年度中に改善した点				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算			0	1,000	800
	決算 (見込み含む)			0	704	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )	
	正規職員人件費	人	0	0.49 人	4,603	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費					
	事業費合計		0	5,307		
	財源内訳	一般財源		0	5,307	800
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		0.0	15.7			
利用数一単位あたり(単位:円)	***		884.5			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	事業開催回数	推進事業開催回数	回		40	50	100
		事業参加者数	推進事業のべ参加者数	人		6000	8000	10000
	成果分析	地域自主事業開設数	とこしゃん体操に取り組む地域での自主活動グループ数	団体	目標値	30	70	200
			%	達成率		116.7	突精値の拡大を図る1 突精値の縮小を図る2	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	音響などの作成、配付方法の検討。支援者・指導者の育成。子どもの運動習慣への動機付けとしての体操。		
	次期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	「とこしゃん体操」の発表会を富岡地区6月、山口地区11月、新所沢地区を2月までに行う。	順次、各地区行政区単位に5ヶ所の自治会館で講習会を実施し体操の普及を進める。21年度実行委員会の設立準備を進めていく。	平成21年3月	
	推進事業地区実行委員会の設置	とこしゃん体操をより身近なところで自主的に取り組んでいくことが必要ことから、その推進母体となる地区実行委員会を設置する。	平成21年3月	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> )			
評価理由				
現在は4人に1人、近い将来、2人に1人に医療費負担がかかると言われるほど、急激に進む高齢社会をむかえ、いつまでも元気で、豊かな生活を送れることが求められている。今後とも「健康寿命」が延びるよう地域・関係団体の協力を基本に支援を行っていき、医療費削減にもつなげていきたい。				
評価日	H20. 5. 19.	記入者職氏名	生涯スポーツ課長 中村藤司	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	事前評価	部内優先順位…	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
評価理由	担当者の予想以上に市民への浸透が進んでおり、「知っていただく」という状況から「定着させる」という段階に既に入っていると考えられる。そのため、指導者の育成・拡大・組織化に重点をシフトすることが望ましい。よって、総合評価は「拡充」、予算については「現状どおり」と評価した。							
評価日	9月1日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					